

(1) 工事コストの低減

③設計方法の見直し

¥

船舶気象通報運用卓の機器仕様の見直し等

(航路標識整備に係る汎用品の積極的採用)

○施策の概要

汎用品・規格品を利用し、また、それに合わせて機器の仕様を見直して機器製造等の低廉化を図った。

○施策の効果(施策によるコスト削減額)

機器仕様の見直しを行い、汎用・規格部品を数多く採用することにより製造コストの削減を図った。

削減額 16.425百万円/台(平成12年度該当台数:1台)  
削減率 71%

○イメージ図

